

宿泊外国人比率 84%のホテルが、日本の美で訪日外国人をおもてなし

## アーティストルーム “天女” 1/17 より販売開始

### 蜷川有紀が制作したホテルの客室

パークホテル東京（運営：株式会社芝パークホテル 東京都港区、代表取締役社長 柳瀬連太郎）は、訪日外国人のお客様に「日本の美」をお楽しみいただけるよう客室全体をアーティストが装飾する「Artist in Hotel」という取り組みを2012年12月よりスタートしております。31階フロアの31室すべてを改装すべくプロジェクトが進行中で、この度1月17日より「アーティストルーム 天女」の販売を開始いたします。

パークホテル東京は、増加する外国人宿泊者に向けて滞在中の宿泊満足度向上を目指す取り組みとして、「日本の美意識が体感できる時空間」をコンセプトに空間づくりを進めております。その一環である、アーティストルームの29室目は「天女」をテーマに、画家で女優の蜷川有紀さんが2016年11月28日から制作をスタート、ホテルに滞在しながら約1ヶ月間制作を続け、2016年12月21日に完成いたしました。

#### アーティストルーム「天女」はどんな部屋？

部屋の制作にあたり、蜷川さんがコンセプトとしたのは「薔薇と天女」です。羽衣を身に纏った美しい天女。天女が舞い降りた薔薇の花が咲き乱れる大地を部屋全面に描きました。「バラというと西洋の花というイメージが強いですが、日本には万葉集のころから“いばら” “うばら”と言われた一重の薔薇が咲いていたのです。」と話す蜷川さん。天女が舞い降りたお部屋で、楽しく豊かな時間を過ごしてもらいたいという想いをこめて描きました。部屋の随所には、蜷川さんのオリジナル、バラベイビーという名の可愛らしいキャラクターやバラルーナという一角獣も隠れています。女優や映画監督としての経験を活かし、蜷川さんならではの独創的で女性らしい、華やかな空間を演出しました。

#### パークホテル東京がお客様にご提供するもの

現在、アーティストルームは31室中29の客室が完成、フロア全室完成まで残すところあと2部屋となりました。ホテルコンセプトに共感し、特徴のある客室を装飾していただくアーティストを選考中ですが、パークホテル東京は今後も主に訪日外国人のご宿泊者さまに向けて、思い出を彩るような特別な滞在、経験価値をご提供してまいります。



「アーティストルーム 天女」内観



制作風景 蜷川 有紀



## ■「アーティストルーム 天女」概要

宿泊開始：2017年1月17日(火)より販売開始

部屋タイプ：アーティストルーム ダブル

広さ：22平米 ベッドサイズ：1,600×1,950

販売料金：1室2名利用 40,000円（消費税・サービス料・東京都宿泊税込）

ご予約・お問い合わせ：03-6252-1100

特設サイト URL：<http://www.parkhoteltokyo.com/artcolours/aih.html>

総合プロデュース：creative unit moon

## ■作家略歴

蜷川 有紀（画家・女優）

1978年、つかこうへい版『サロメ』にて、3000人の応募者の中から主役に選ばれ女優としてデビュー。1981年、映画『狂った果実』でヨコハマ映画祭新人賞受賞。以降、出演作多数。舞台でも『仮名手本忠臣蔵』『にぎり江』など様々な異色の作品に出演し、確実な演技で評価を得る。2004年には、鈴木清順原案の短編映画『バラメラバ』を監督・脚本・主演。2008年、Bunkamura Galleryにて絵画展『薔薇めくとき』を開催。同年度情報文化学会・芸術大賞受賞。以降、2010年『薔薇まんだら』（松坂屋上野店及び大丸心齋橋店イベントホール）2012年『薔薇都市』（Bunkamura Gallery）、2013年『薔薇迷宮』（大丸心齋橋店イベントホール）など薔薇をテーマにした大規模な個展を毎年開催。岩絵の具で描き上げた魅惑的な作品が多くファンを魅了している。また、日本文化デザインフォーラム幹事、(財)全国税理士共栄会文化財団 / 芸術活動分野選考委員、Innovative Technologies 特別賞選考委員（経済産業省）、青森県立美術館アドバイザー等として多くの文化活動にも貢献している。2016年より大正大学客員教授に就任。2017年5月には、パークホテル東京にてダンテの「神曲」をテーマにした超大作を発表予定。



HOME PAGE <http://www.oyukibo.com/>

TWITTER <https://twitter.com/oyukibo>

INSTAGRAM <https://www.instagram.com/oyuibo/>

FACEBOOK

<https://www.facebook.com/oyukiboninagawa>



<本件に関するお問い合わせ>

パークホテル東京 マーケティング部 広報：宮崎、早乙女

Email : [y.miyazaki@parkhoteltokyo.com](mailto:y.miyazaki@parkhoteltokyo.com) 〒105-7227 東京都港区東新橋 1-7-1 汐留メディアタワー

TEL : 03-6252-1111(代) FAX : 03-6252-1001